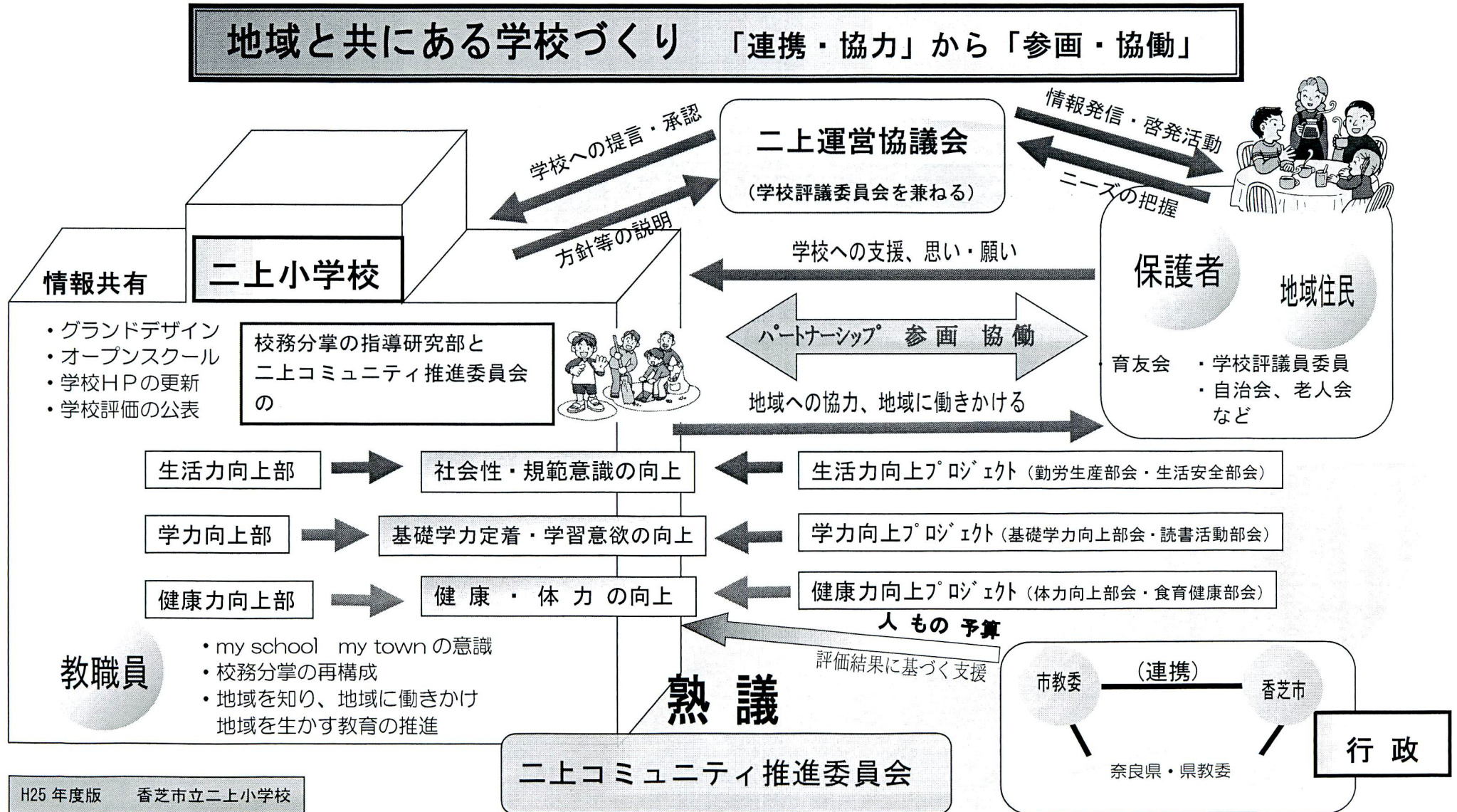


# 二上（ふたかみ）コミュニティ（＝奈良モデル）

（コミュニティスクールの実現に向けて）

\*イメージ図





### 二上小学校コミュニティ・スクール(仮称)推進事業全体計画

**学校教育目標**

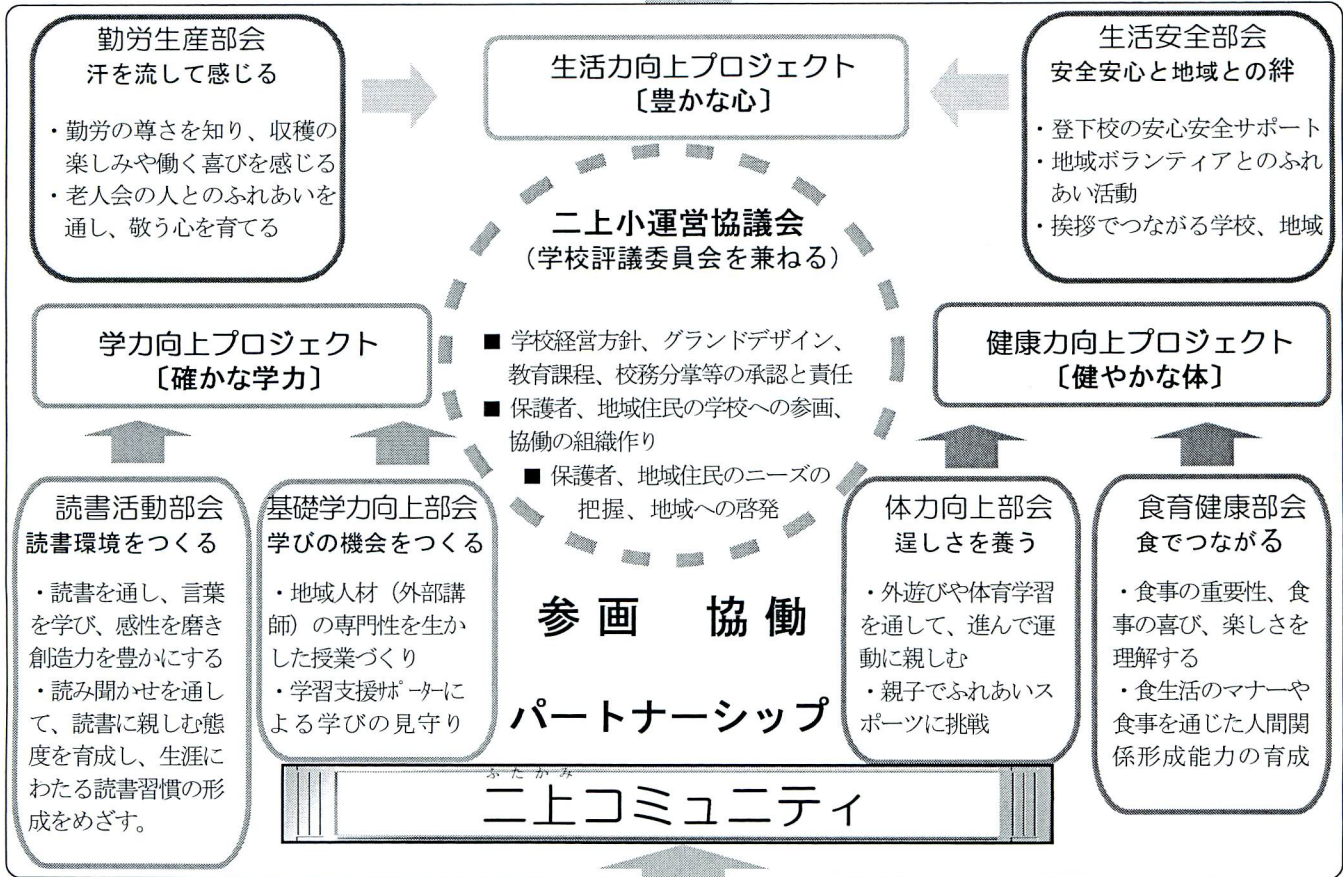
**豊かな心で たくましく生きる子**  
 人間性豊かな、知(確かな学力)徳(豊かな心)体(健やかな体)の調和のとれた児童の育成

**めざす子どもの姿** [心豊かに たくましく生きる子ども]

<b>自ら学び 深く考える子</b> 将来にわたっての基礎となる学力を育てる	<b>思いやりがあり 心豊かな子</b> 規律を守り、他と協調し、他を思いやる心や感動する心を育てる	<b>根気強く たくましい子</b> たくましく生きるための健康や体力、忍耐力を育てる
---	---	--

**本年度の重点目標**

**笑顔であいさつ たしかなつながり あふれる感動**



教職員 保護者 地域住民 学識経験者 市関係機関 民間団体 等

**熟議**

**二上コミュニティ推進委員会**

## 平成25年度 二上コミュニティ実施計画案

### 1 目的

学校と地域の人々（保護者・地域住民等）が目標を共有し、一体となって地域の子どもたちを育てていくことで、子どもの豊かな育ちを確保する。

### 2 意義

- (1) 学校運営に多様な人の意見を取り入れることで、より多角的な教育内容を確保し、子どもの豊かな育ちを期待できる。
- (2) 保護者や地域住民の学校への理解が深まる。
- (3) 子どもたちが、教員以外の大人たちと日常的に接することで、多様な価値観にふれ、たくさんの知恵を吸収できる。
- (4) 日常的な地域の「大人」とのかかわりのなかで、「やさしさ」や「厳しさ」を実感させ、大人への強い信頼感を築かせ、大人へのあこがれや尊敬の念が培われる。
- (5) 学校を拠点とした「地域コミュニティの形成」から近隣どうしのつながりを強固にし、保護者や地域住民同士の「横のつながり」が強まる。

### 3 目標

- (1) 授業公開、懇談会、学年・学校だより、ホームページ等を通して学校情報の積極的な発信に努め、保護者や地域と情報を共有し、ともに子どもを育てる学校づくりに努める。
- (2) 保護者や地域住民の意見を学校運営に反映させ、学校評議員（二上運営協議会）、二上コミュニティ推進委員会の意見や助言を真摯に受け止め、教職員と保護者や地域住民が一体となり、責任を共有し合いながら、地域と共に歩む学校づくりを進める。
- (3) 地域の価値観を受容し、人の強みをつなぎあわせ、変化の自覚が味わえる取組を推進する。

### 4 研究課題

「地域に開かれ、地域とともに歩む学校をめざして」  
～学校・家庭・地域社会との連携・協働を通して～



## 5 研究内容

コミュニティスクールの実現に向けて学校と地域のつながりや新たな絆を結び、学校・家庭地域が互いに助け合う協働の関係を作り、共に教育を創る活動が学校・家庭・地域でそれぞれ行われ、互いに協力し、支え合う関係にある学校づくりを進める。

## 6 研究組織

(別紙)

## 7 研究計画

本年度は本校の子どもの実態且つ奈良県教育の課題を踏まえ、三つのプロジェクトを編成した。

- ① 基礎学力定着、学習意欲の向上を図る学力向上プロジェクト
- ② 社会性や規範意識を高めるための生活力向上プロジェクト
- ③ 健康・体力の向上をめざした健康力向上プロジェクト

### 学力向上プロジェクト

[基礎学力向上部会] 地域人材の専門性を生かした授業づくりや子どもたちの学習規律の育成を図る。

[読書活動部会] 読み聞かせを通して、読書に親しむ態度を育成するとともに、読書を通し、言葉を学び、感性を磨き豊かな創造力を育成する。

### 生活力向上プロジェクト

[生活安全部会] 安心安全が確保され、規範意識や社会性を高め、挨拶でつながる学校、地域をめざす。

[勤労生産部会] 勤労の尊さを知り、働く喜びを感じさせ、人とのふれあいを通し、敬う心を育てる。

### 健康力向上プロジェクト

[体力向上部会] 外遊びや体育学習を通して、進んで運動に親しむことや、地域・保護者ととともにふれあいながら体力の向上をめざす。

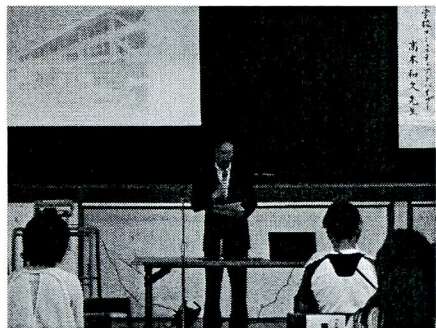
[食育健康部会] 食事の重要性、食事の喜び、楽しさを理解させ、食生活のマネーや食事を通じた人間関係形成能力育成を図る。



## 『二上コミュニティ』だより

6月12日(水)本校体育館にて本年度第1回二上コミュニティ推進委員会を開催しました。

はじめに開会行事の中で来賓としてご出席をいただいた奈良県教育委員会事務局人権地域教育課の奥田秀紀課長よりご挨拶をいただきました。奥田課長からは、二上小学校が平成24年度に地域教育力推進モデル校として指定を受け、地域と共にある学校づくりのリーダー校として取り組んでいることへの激励の言葉をいただきました。そして、本年度はこのモデル校の取組の成果を受けて、学校・地域パートナーシップ事業が県内の公立小中学校の約9割で実施され、さらに県立高等学校、特別支援学校でも7校のモデル校を指定し、平成26年度からは全県で「地域と共にある学校づくり」を推進していくというお話もありました。



教職員・保護者・地域がコラボ(コラボレーション=協働)していくことで、地域と教職員のコミュニケーションが生まれ、地域とつながりが深まる。さらに熟議を通して学校や子どもたちの課題が明らかになり、共通理解が進みながら、また先生方が子どもたちと向きあう時間が確保できるなど、地域と共にある学校づくりのメリットが期待できる。さらに、この取組推進の原動力は、子どもたちが変わっていく姿を実感できることであり、子どもたちにかかわる人

々の笑顔も子どもたちによってもたらされる。学校が変われば地域も変わり、地域が変われば子どもも変わる。子どもが変わると未来が変わってくる。子どもたちの豊かな育ちを支援し、社会的な絆、意識が高まり、地域教育力が高まっていくこのような取組が必要だと話されました。

続いて、コミュニティスクール担当より、昨年度の6部会(勤労生産部会、生徒指導部会、健康教育部会、体育指導部会、文化情報部会、生活安全部会)の取組と本年度の二上コミュニティ実施計画案(研究組織、研究計画)についての説明を行いました。

その後、本校の職員、推進委員の方々、そして市内の学校職員及びPTA・地域関係者も参加し研修会を行いました。

研修会では、奈良県学校コミュニティアドバイザーの高木和久先生より「学校と地域の協働で子どもを育てる」という演題でご講演をいただきました。

高木先生の講演では、社会で今どんなことが起きているのか、いじめ、体罰、予期せぬ災害、自殺、無縁死、DVや虐待が日々増えていること、その中で苦しんでいる子どもが増加していること、このような現状より人と人との繋がりが希薄となってしまっているというお話から始まりました。

高木先生が勤めておられた学校も様々な課題のある中、新たな仕組みや組織づくりを行い、みんなで熟議(それぞれが当事者意識をもって議論)し、課題の解決に向けて、学校と家庭・地域と一緒に汗をかき協働しながら取り組まれ、コミュニティスクールを立ち上げたというご自身の経験を話していただきました。

そして、コミュニティスクールの必要性として、子どもたちは、いろいろな大人とかかわる中で、コミュニケーションや社会性を身につけ、成長する。まさしく『地域は子どもたちを育てる教育の場』なのであり、学校と家庭・地域が協働して取り組むことで、地域も活性化し、学校への理解も深まり、大人も地域も共に成長する機会となったことなどをお話いただきました。

さらに、これから10年後、20年後地域を支える子どもたちを地域も学校も同じ目の高さで、一緒に育てていくことが大切であり、子どもたちが自分の住んでいる地域の中で将来、コミュニティを形成していくことが重要である。そして、そのコミュニティの形成を進める上でも、地域と学校が共有する課題を明確にし、一緒になって汗をかく喜び合い、一人一人の強みを生かして関わっていけるようなコミュニティにしていくって欲しいというご助言もいただきました。



高木先生の講演終了後には、各部会(勤労生産部会、生活安全部会、読書活動部会、基礎学力向上部会、体力向上部会、食育健康部会)に分かれての意見交流を行いました。それぞれの部会で子どもたちの様子を情報交換しながら課題等を出し合い、本年度の取組の方向性等を探る話し合いを進め、第1回の推進委員会を終えました。

